

内郷村報の  
六大使命

- 一、政務行政を推進して、村方責務主義を標榜す。
- 二、村内公私各機關の活動状況を報導し、併せて其協調を計り、進現和進努力の實現を期す。
- 三、本村社会事業の徹底を期す。
- 四、村内の道徳風行を演習し、且之を奨励す。
- 五、本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、尙餘力を以て國民教育に當る。

九月二日  
九月九日

關はるのだからなき、申して居ります。今度の婦人之友には、小學校一二三學、夏休十日間の試みなど、ながく面白く且つ有益な記事があり、十月號には同四五六

# 内郷村報

ルニ天  
ベ從法  
シ順人  
ナ則

## 殺草殺木の

### 罪障消滅

#### 大内民惠

予はこゝに居を構へて十五年、其當時全山に向つて、常磐炭礦つるはし紙を通じて、特に植樹を奨励したのであつたが、微力の致す處、其理想の幾分をさへも、實現するに到らなかつたが、其當時自ら鋏をこつて植ゑた、ポプラ、プラタナス、アカシヤ等々の樹木は、年一年成木して、盛夏の候ともなれば、亭々鬱蒼我等の宿舍を掩はひて、三伏の炎熱を調節軽減してくる。又其頃事務所と書齋との間、窓前に移し植ゑたつた尺餘の海棠、枇杷、山茶花等も、いつの間にか見上げるやうにそだち、海棠は晩春先づ端麗な花を開いて、我等をして嘆美の聲をはなしたしめ、晩秋ともなれば、其紅熟せる果實は、近隣の子供等を喜ばせる。枇杷は其結實は稀ではあるが、何かの薬用にと、其綠

葉をもらひに来る人々が、少くないのを見ると、之も亦醫療に役立つ居るのである。山茶花は、今しも清艶なる花と蕾とを以て、全木を粉飾し、其影は佛壇から机上に迄及んで居る。俳聖芭蕉も

よく見ればなつた花さく垣根哉  
草木は、たゞこれ予が植ゑて、放つて置いたに過ぎないもので、大自然の大聖力によつて、其今日を致したものである事を思ふ時に、我等は深く考へさせられるのである。

而して予は、本年早春の或日、庭に立つて一塚をもつて圍まれたる――巾一間長さ二十間の――枯死せる草木其まゝの植木鉢や、空植木鉢が、彼方此方に幾つとなころがつて居るのを見て

## ！ 力 ← 努 ← 總 → 親 → 和 ！

來れり十一月！  
努力月！！

今更ながら、感慨之を久うしたのであつた。これは予が過去幾春秋の間に、多くの知友から寄贈せられたもの、若しくは困窮したる植木屋さんを賑はす爲に養つて、其價ひをしやうと

悔恨せられたのであつた。こゝに於て予は、一念發起、二十幾つかの鉢に、庭内に餘命をつないて居つた草や木を植ゑ込み、之を培

爾來半ケ年、予は毎朝未明に起きて、如露、植樹、鉢、手、ピン、セツト、庭内を駆けめぐり、うち込んで、其最善を致したるの月に入つたのである。紫をとりどり、他、盆、黄、白、紅、其特質を發揮して居る。其特質を發揮して居る。其特質を發揮して居る。其特質を發揮して居る。

努力を強調するため、昨十一月九日、御七年忌の機会に制定せられたる十一月！ 努力月！！

を迎へることは、寔に意義深いことである。いのでや、全山五千の勇士！緊張勇躍

一人も怠けるものなく

戦場の勇士に恥ぢない

意氣込を以て、各めい／＼の業務に精勵し、銃後あらゆる工業の原動力たる、石炭を山と採掘し、報國の至誠を致すと共に、大社長、の英靈を慰めなければならぬ。

一年中、わけても、御命月の十一月！奮へよ、努力せよ、全山五千の従業員！

昭和十二年十一月一日

從業員各位 (此の紙は神棚にはつておいて下さい)

磐城炭礦々業所

其來る毎に必ず一鉢つゝ、を買つてやつたもの等々、其當座こそ之を見てやつたが、生來の無性に到底永くは續かず、其殘骸が即ちその罪障の深かつた事を、衷心よ

決心したのであつた。而して其折も折も、予が昨年當村に創立結成せられた秋芳會(菊の培養會)の顧問たるの故を以て、松本會長から苗を植ゑ込んだのであつた鉢を持こまれたのであつた

爾來半ケ年、予は毎朝未明に起きて、如露、植樹、鉢、手、ピン、セツト、庭内を駆けめぐり、うち込んで、其最善を致したるの月に入つたのである。紫をとりどり、他、盆、黄、白、紅、其特質を發揮して居る。其特質を發揮して居る。其特質を發揮して居る。



滅消障罪の木殺草殺

(十一月二日夜稿)

# 厄年を危く經過して

濱崎善三郎

## 七、鑛夫の親方

記録係庶務係を経て、大正十五年十月には、當時新たに設けられた、勞務課に轉勤を命ぜられました。其頃は日本の勞働運動の勃興時代で、同年八月、既にわが會社の従業員中にも、日本坑夫組合の支部が出来て危機を孕んでいました。こへ俄かに勞務課が新設されて、鑛夫の顔一人知らずが、思ひがけもなく、その責任者を仰せつかつたのであるから、全く鳩が豆鐵砲を喰つたやうでしたらう。

當時勞働者の總數は、内郷、小野田、重内、千代田の四炭鑛を併せると、一萬を突破してゐました。私は考へました。此勞務課長の仕事は、なかなか困難だが尊い仕事ではある。人間は一人の人の上に立つのも、むづかしいことだ。それが一萬以上の勞働者の世話指導はもとより其背後に居る家族までも、面倒を見なければならぬのであるから、なまなかのことではない。「今迄惡運強く、生きながら



長社大野淺故

只の一人も居なかつたのに善戦だか悪闘だか分らんがよくなあ切りぬけたもんだと、今でも感慨無量なるものがあります。

外來の勞働ブローカーに煽動され、争議に参加して喰物にされた、鑛夫達のじめな有様を、現實に見せつけられた私は、自分こそ勞働者の眞の味方にならなければならぬと、堅く決心した次第でした。

此争議に際し、當時古河に居られた氏家貞一郎さん

は、私のよろしく歩きをおたく心配されて、あんよはお上手！屹度こんな温い心持で？心からなる聲援をして下さつたものであります。先輩は有難いもんです。

石炭は幾ら掘出して足らず、勞働者も亦幾らあつても不足で、其募集に苦心慘澹してゐる今日から見れば、眞に隔世の感があります。昭和五年頃は、炭況頗る不振で、大の虫を生かすために、萬已むを得ず千代田炭鑛の休山に次いで重内小野田兩鑛共に鑛夫を整理した上で、斤先に移すことになり、何れも相當の波瀾がありました。其後昭和七年には、此内郷でも濟し崩しではあつたが、隨分澤山の鑛夫達を整理せざるを得なくなりまして、可憐な鑛夫達を斤先の里子にやつたり、解雇したりした數は、幾千あつたであらうか兎に角一萬を超えてゐたもの、昭和八年には三千人になつたんですからね。それにしても殆んど何等の支障もなく、五年十一ヶ月間の勞務課時代を、大過なく無事に勤めさせていたのだといふことは、これ偏に上司は勿論、同僚諸君の御庇護と部下の人達が、至誠

と親切、先づ己を磨く！此私のモットーに、共鳴替同して、眞に献身的に働いてくれた御蔭である、感謝して居る次第です。

故淺野大社長には、とてもとても鑛夫達を可愛がつていたさました。あの白髪童顔、御自慢の漆黒な長い眉、ニコニコしながら、鑛夫達の肩をたたくいて「勉強して呉れよ」と激勵されたものであるが、其大社長の鑛夫達に對する愛撫心の餘蘄は、この私にまでも及び、大社長から見れば孫のやうな私を、鑛夫の親方々々慈しんでいたいたこととは、終生忘れ得ぬ感激であります。

勞務課時代を振り返つて見て、たつた一つ、今でも心の傷みを覚ゆることがあります。それは整理の過程に於て、どうしても鮮人鑛夫を解雇せなければならぬ破目になつたのであるが、内地は何處も不況で、之を容れてくれる處はなく、ほと／＼困つた擧句、フト氣が附いたのは、時しも滿洲國は基礎が固まつて、これからといふ時であつたので、鮮人の組長に、どうだ一つ滿洲の新天地に奮發して見ると、一同相談の上、行くといふ申出があつたので、早速私はその組長を連れて上京、關係官廳に依頼に及んだ處、首尾よく其意願が達せられたのであります。

陸軍大臣の副官、拓務省の小河課長、朝鮮總督府の池田警務局長などの、親切な御取計ひは、今も肝に銘じてゐます。只滿鐵東京支社に行つた時に、案内係長かの一老人が、折角内地に來てゐるものを、今頃滿洲にやるなんて、そりや亂暴だ、慘酷だと叱られました。が、さして氣にも止めないで、いよいよ昭和七年五月九日鮮人鑛夫五十三人、家族を加へて一行百五十七人を、綴驛頭に見送る事になつたのであります。

長い間會社で奮闘してくれた鑛夫達、杖にすがる老人、母に抱かれた乳呑子、内地婦人の妻の姿など、いざ別れるとなると、もう胸がばいになつて、萬歳の音頭も、遂に取り兼ねた次第でした。滿鐵支社の老人の一喝も、今になつて胸にこたへると共に、時々思ひ出しては此等の人々の幸福を、祈つて居る次第であります。

我が國教育學界の權威、前京大總長小西重直博士を寄せて曰く、多年ノ御體験ト實地ノ御試練ニ基ク眞學堂國ノ大精神ヲ傳ヘ仕ルノ不忠感敬ニ行ハシメ申儀云々。

## 教育制度改革概論

矢野恒太 大内民憲 著

（四六版二二頁 定價五十錢 郵税六錢）

行き詰る現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同攻撃に違あらず。されど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威、前京大總長小西重直博士を寄せて曰く、多年ノ御體験ト實地ノ御試練ニ基ク眞學堂國ノ大精神ヲ傳ヘ仕ルノ不忠感敬ニ行ハシメ申儀云々。

發行所 日本評論社 東京京橋三丁目

## 東北鑛山常磐部會

勞務協議會

十一月五日午前九時より、

同 一等二席 尾形八利保

同 二等三席 齋藤盛光

同 三等四席 齋藤新高砂

同 四等五席 齋藤吉清

應召軍人家庭に、稻刈奉仕をなし、其家庭は勿論、道行く人をして感嘆の聲を放たしめた。團員中には、農

### 村會決議概要

十一月二日午前十時より招集、村會議員都築源作は支那事變に充員召集のため、町村制第九條の規定に依り村會議員の被選舉權を有せざるものと認められた。

### 選舉會

別項の決議に依り同月十日午前十時より山崎(佐)田口宮下の各立會人立會の上選舉會を開會、次点者加藤木誠一郎線上當選決定した。

### 愛國婦人會總會

十月二十一日午前九時より淺野記念館に於て、分會初總會を開催、出席會員七〇名、來賓として村長始め村內各有志參列、別項掲載の如き、宣言及決議案を満場一致可決、午後四時盛會裡に散會した。

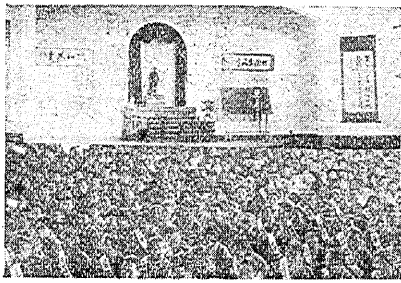
尙國民精神總動員本縣實行委員大内民恵氏の四十分間に涉り有益なる講演と、磐炭健康保險組合平野氏説明の下に、時局に關する活動の上映あり參會者一同に絶大なる感興を興へた。(係)

### 消防組幹部異動

消防組頭佐藤三平、同小頭鈴木政信兩氏辭任につき、

### 方面委員異動

方面委員第八區擔當、猪狩喜平治氏は勤務上の都合に依り、辭任したるを以て、



上沼田會場長の挨拶  
下は沼田會場の様子

其の後任者として安田卯太郎氏の任命を見た。

### 敬老會

内郷村小學校主催、磐炭後援下に、十一月十五日淺野翁頌徳記念館に於て、第五回敬老會を開催。國歌合唱佐藤一校長の挨拶、磐炭取締役金山吉吉氏の祝辭に次いで、各小學校兒童の唱歌及映畫等ありて盛會を極め

特に磐炭よりは菓子折の寄贈があつた。困みに本年は七十三才以上を招待したるに二百九十四名中二百五十名出席、缺席者へは其翌日それ〳〵記念品を贈呈した

### 出征家族慰問袋

### 宣言

支那事變勃發以來 戦局ハ愈々擴大シ 蘇滿ノ國境亦隱カナラザルモノアリ 我忠勇ナル軍人ノ奮戰力闘ニ依リ 連戰連勝極メテ順調ナル戰果ヲ收メツ、アルモ未ダ之ヲ以テ前途ヲ豫測スベカラズ 此ノ秋ニ方リ我等會員 御諭告ヲ奉載シ 益々結束ヲ固クシ コノ難局ノ打解ニ邁進シ 銃後ノ護リニ萬全ヲ期ス 右宣言ス 昭和十二年十月二十一日 愛國婦人會 内郷村分會

### 決議案

一、官言の趣旨を實現するため 左記事項の實行を期す  
二、各自の職分に精勵すると共に 子弟の教育に一段の注意をなし 健全なる國民の養成に努めませう  
三、出征軍人の歡送迎にはなるべく都合して出ること  
四、生活の改善に努め 非常時經濟に注意しませう  
五、出征軍人の家庭慰問 國防献金 勞力奉仕等につとめませう  
六、非常の場合に 周章せざる様 常に心の準備をいたしておきませう  
昭和十二年十月二十一日 愛國婦人會 内郷村分會

### 農會

十七日。高坂、十一月十一日。下綴、御台境、御厩、小島、十月二十四日。村農會では、十一月二十九日より十二月一日迄三日間陸海軍省へ家兔の共同納入

### 杉山朝光氏の美舉

杉山炭礦々主杉山朝光氏は亡父今朝吉氏の三回忌に相當するを以て、特に内郷第二小學校に出頭、其供養の

### 急告

國稅畑雜地租營業收益稅(第二期)縣稅營業收益稅附加稅所得稅附加稅(後期)村稅營業收益稅附加稅は二十五日村稅特別稅戶數割は三十日の納稅期限ですから御忘れなく納稅して下さい 爲にとて、應召軍人子弟の學用品代として金五十圓を寄贈せられたので、堀校長を始め職員一同之に感激し其厚意に添ふべくそれぞれ手配するところあつた。因みに故今朝吉氏は生來俠氣に富み、公共奉仕の念厚かりし爲め、人の敬慕する處であるが、令嗣亦其遺志を繼いで、此時局に際し數回にわたつて、多額の金品を献資したるが如きは、眞に讚嘆すべき次第である。

村當局、大字區長、方面委員、各小學校長、愛國婦人會等に於ては、左記日割に依り、出征應召者家族を慰問した。 白水、十一月九日。内町、十一月十一日。宮、十一月十四日、八日。上綴、十月二十四日。

名譽の戦死者 (二)

大字白水濱井場甲十四號ノ二 十月二十五日上海戦 陸軍歩兵一等兵鈴木己喜男 (二七歳)

大字宮宮澤十六號 十月十三日上海戦 陸軍歩兵一等兵 先崎俊次 (三四歳)

山口甚六氏の篤志 従来窮民救済方面に向つて 貢献する處多大であつた同 氏は、今次事變に當面して 大字上下級在住者中應召出 征者を出した各戸に對して 國旗一流つゝを贈り之を軒 頭高く掲揚した。尙今後の奉 應召者に對しても同様の奉

戦捷祈願祭々々文

謹テ村社住吉神社 西宮神社 常磐神社 八坂神社ノ 大前ニ白ス 滿洲ノ曠野ニ不眠不休ノ奮闘ヲ續ケツツ アル將兵 又支那事變勃發以來 我陸海軍將兵ハ 彈 雨ヲ冒シ 不良ナル天候ヲ排シ 寡兵ヲ以テ衆敵ニ對 シ勇戰奮闘 各地ニ連勝ノ偉功ヲ樹テ 國威ヲ中外ニ 發揚ス 是レ固ヨリ御稜威ノ然ラシムル所ニシテ 其 忠勇義烈ハ 國民ノ齊シク感激シテ已マザル所ナリ 今ヤ事態ハ益々擴大シテ 帝國ノ前途亦容易ナラザル モノアリ 仰キ願クハ冥鑑ヲ垂レ給ヒテ 時難ヲ克服 シテ 終局ノ目的ヲ達成セシメンコトヲ 昭和十二年十一月十二日 石城郡内郷村長 從五位 功五級 沼田濱之助

愛國婦人會の活躍

出征將士の驛頭歡送、五百 有余の出征軍人留守宅慰問 戰病死者の遺族弔問等々不 斷の活動を續け來れる本村 愛國婦人會分會に於ては、 一千一百名の會員を有する に至り基礎益々鞏固、過般 八〇〇個の慰問袋を發送し て間もなきに、引續き國防 献金として金壹百圓を贈る 等目醒しき活動をなしつつ 有るが、今回亦左の慰問文 を出征兵士に送りて、之が 慰藉をなした。

国防献金と慰問品

仕をするとの事である。 (國防献金) 壹圓 宮金坂 矢内宮治 五圓 御厩小島下綴御台境 各女子青年分團 佐藤トシ外二五名 五拾圓 高階炭礦 川合三之助外一〇二名 壹百圓 愛國婦人會内郷分會

農家曆

十一月 十一月 十一月 (下旬) 乾田苗代の秋耕始め、稻 大小豆種子購入交換、大小果第一 回土入及麥踏實行、梨桃等の果樹 落葉の焼却及基肥の準備、家苑の 共同販賣輪旋。 十二月 (上旬) 蔬菜類苗床用肥土の準備 蔬菜類一般霜防、菊類の根株保護 堆肥の製造、秋蒔甘藍及葱頭の定 植及移植、切三葉の軟化始め。米 の共同受檢及共同販賣輪旋。 (中旬) 白菜の收穫、大根葱夏甘 藍の收穫、寒ソドの收穫、畜舎及 鶏舎の防寒設備、家苑の灌漑。

出征軍人家族 扶助金寄附

百圓 白水 杉山 朝光 參圓 平市佛敎善華會 代表 遠藤 心光 拾圓 宮町田坑 選炭婦一同 拾圓 内 町 齋藤 定輔 拾圓 湯本町 佐波古直元 總計二千一九圓七八錢

然し新聞に雜誌に報導されず凡 て我が軍人の雄々しき物語つ て居ます。かゝる皆様の國家の干 城として信頼出來ます私達に本當 に幸福を下さいます。それにつけ ても銃後の御心配は掛りお掛け 來ないで存じまして後訪の致して 當會員達が御留守宅を訪問致して 居りますが御家内御一同様殊の外 お元氣でお小さいお子様方迄が偉 いお父兄様の子なればその自重心 の許に強く生きて行かうの御氣持 が何れまして涙ぐましい極みで御 座います。 何卒、御健康に御留意の上御活 躍下さいまして「憎むべき敵を降 伏せしめて一日も早く御凱旋遊さ る、日を遙にお祈り申上ります」

家族までも、面倒を見なければならぬのであるから、なまなかのことはしない。今迄悪運強く、生きなが

ければならぬと、堅く決心した次第でした。此争議に際し、當時古河に居られた氏家貞一郎さん

無事に勤めさせていたといふことは、これ偏に上司は勿論、同僚諸君の御庇護と部下の人達が、至誠

からといふ時であつたので、鮮人の組長に、どうだ一つ満洲の新天地に奮發して見

こたへると共に、時々思ひ出しては此等の人々の幸福を、祈つて居る次第であります。

### 教育制度改革概論

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内案主義を提唱す。天下知名の士の賛同攻撃に違わらず。されど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威 前京大總長小西直博博士 書を寄せて曰く、多年ノ御體験ト實地ノ御試驗ニ基ク其學界ノ大精神ヲ拜味仕リ不思感激ニ行ハシ申儀云々。

發行所 日本評論社 東京橋本三丁目 取次所 内郷村報社

### 東北鑛山常警部會 勞務協議會

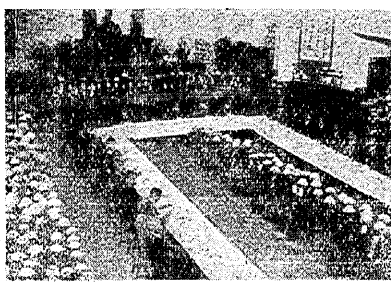
十一月五日午前九時より、入山自治會館に於て開會。仙台鑛山監督局管下二十二炭礦及鑛山の勞務主管者三十四名、警長より濱崎副所長以下四名出席。理事長齋藤大助氏(鑛政課長)の挨拶、濱崎幹事の歡迎の挨拶及常警炭礦の概要説明後、勞働力不足緩和對策、時局

女子青年會の美舉 警長町田坑勞務擔任武藤義造氏の宰する同會では、有志會員三十四名を兩班に分け、十月三十一日と十一月七日の兩日に涉り、玉川村住吉神社に、阜軍の武運長久を祈願し、其往復煙をとり、賣上金四圓拾錢を得、全部之を恤兵部へ献金した

郷内理髮組合の美舉 同組合では、八月十五日より、出征軍人家族中比較的困窮の人々の理髮を無料とする事に決定した。

女子青年團 内町支部の活動(一) 同支部では深く時局に鑑みる處あつて、内町校を中心種運動に活躍して居るが、十一月一二の兩日に涉つて

應召軍人家庭に、稻刈奉仕をなし、其家庭は勿論、道行く人をして感嘆の聲を放たしめた。團員中には、農家の子女は極めて少く、生來鎌を手にした事などは、銃全くないにも拘はず、銃後の赤誠に燃え、モンペ姿も勇ましく、雨後の泥田に立ち働いたのであつた。國家總動員の高唱さるる今日かうした運動は、一般に深き印象を與へると同時に、子女教育上、農家の辛勞を體驗せしむる上に於て、甚大なる効果あるものとして指導部では大い満足して居る。



常警部會員休憩光景

下に於ける勞務管理の諸問題等に就きて熱議し、産業報國のローガンを決議した。かくて一行は、入山、長倉、磐城(淺野翁頌德記念館に於て休憩)好間の順路に、坑内外の諸施設を視察、午後五時少しも大量の日程を、行き届いた計畫と準備とによつて無事終了、住吉屋に於て、晚餐を共にし、遠來の客を構つて解散した。

家政女學校では、バザーの賣上金中拾五圓を慰問費に献金した。



秋芳會菊花品評會觀美の會評品花菊會芳秋

秋芳會菊花品評會 十一月一日より一週間、淺野翁頌德記念館に開催、五日に會田政治郎渡邊喜重小松米作三審査員の審査を行ひ、七日に授賞式を舉行した。其受賞者は左の通りであつて、連日多數の來觀者があつた。

優等 高嶺の譽 綠川 清彌 岡崎 精市 樋口 義一 同 人

優等 延壽王 粕谷 政吉 一等 新高砂 岡崎 清市 二等 百萬光 岡部 吉之助 三等 橋本 清川 利保 四等 四季綠 小松 清彌 五等 紫紅星 綠川 清彌 因に出品者四十六名、二百八十三鉢。

赤土興榮 員「植松少將の「今次事變と國民の覺悟」の有益なる講演あつて、午後五時閉會した。かくて一行は汽車の連絡なく歸れないので、天王寺立花屋に連日の勞を癒やして歸村した。大會の宣言は左の通りである。

本紙贊助金寄贈芳名 金壹圓 金坂 平 興作 金貳圓 北海道 小野 昇 金壹圓 平 松崎 徳茂 金貳圓 金坂 大竹菓子店



内郷村報の  
 一、政務は速に整理して、村ノ一主主義を標榜す。  
 二、村内外公私各機関の活動状況を報導し、併せて其協調を計り、建設和進努力の實現を期す。  
 三、本村社会事業の徹底を期す。

# 内郷村報

## 殺草殺木の 罪障消滅

天法 人則  
 二 從 順  
 ルベシ ナ

### 大内民惠

予はこゝに居を構へて十有五年、其當時全山に向つて、常磐炭礦つるはし紙を通じて、特に植樹を奨励したのであつたが、微力の致す處、其理想の幾分をさへも、實現するに到らなかつたが、其當時自ら鉄をこつて植ゑた、ポプラ、ブラタナス、アカシヤ等々の樹木は、一年一年成木して、盛夏の候ともなれば、亭々鬱蒼我等の宿舎を掩ほひて、三伏の炎熱を調節輕減して、その間、窓前に移し植ゑたつた尺餘の海棠、枇杷、山茶花等も、いつの間にか見上げるやうにそだち、海棠は晩春先づ端麗な花を開いて、我等をして嘆美の聲をはなしたし、晩秋ともなれば、其紅葉せる果實は、近隣の子供等を喜ばせる。枇杷は其結實は稀ではあるが、何かの薬用にと、其縁

葉をもらひに來る人々が、少くないのを見ると、之も亦醫療に役立つて居るのである。山茶花は、今しも清艶なる花と蕾とを以て、全木を粉飾し、其影は佛壇から机上に迄及んで居る。

× 俳聖芭蕉も  
 × よく見ればなつた花々く垣根哉  
 × と、いつて居るが、以上の草木は、たゞこれ子が植ゑて、放つて置いたに過ぎないもの、大自然の大聖力によつて、其今日を致したものである事を思ふ時に、我等は深く考へさせられるのである。

× 而して子は、本年早春の或日、庭に立つて（屏をもつて圍まれたる）申一間長き二十間の枯死せる草木其ま、の植木鉢や、空植木鉢が、彼方此方に幾つこなくころがつて居るのを見て

今更ながら、感慨之を久うしたのであつた。これは予が過去幾春秋の間に、多くの知友から寄贈せられたもの、若しくは困る植木屋さんを賑はす爲に

## 和親一總一努一力！

來れり十一月！  
**努力月！！**

◆今や忠勇なる我皇軍の將兵は、支那四百餘州の天地に、翩翩日章旗をふりかざし、東洋平和の地に、將た世界人類幸福のため、奮戦力闘しつゝあります。

◆此秋此際、我が故郷野大社長の大遺訓**努力**を強調するため、昨十一月十一日、御七年忌の機會に制定せられたる**十一月！努力月！！**

を迎へることは、毫に意義深いことである。

◆いでや、全山五千の勇士！緊張勇躍

一人も怠けるものなく

**戦場の勇士に恥ぢない**

意氣込を以て、各めいゝの業務に精勵し銃後あらゆる工業の原動力たる、石炭を山と採掘し、報國の至誠を致すと共に、大社長長の英靈を慰めなければならぬ。

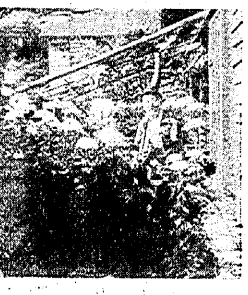
◆一年中、わけても、御命月の十一月！奮へよ、努力せよ、全山五千の従業員！

昭和二十二年十一月一日

其來る毎に必ず一鉢つゝ、を買つてやつたもの等を、其當座こそ之を見てもやつたが、牛來の無性は到底永くは續かす、其殘骸が即ちその障の深かつた事を、衷心よ

悔みられたのであつた。こゝに於て子は、一念發起、二十幾つかの鉢に、庭内に餘命をつないて居つた草や木を植ゑ込み、之を培養して、其價ひをしやうと

本報發行は大内一家の事業に就いて、其の社債は子孫に對する遺言を兼ねるものなり。



爾來半ケ年、予は毎朝未明に起きて、神佛の禮拜を終り、如露、植樹器、木を手にして、庭内を駆ける等を、手にして、その内を等々に心を、魂をうち込んで、其最善を致したものであつた。

が、此月に入つたのである。紫のお蔭で、其は、黄白紅氣を放り、他の盆栽も亦各々生を全うして、其特質を發揮して居る。就中特に、春の感喜に堪へないのは、春の頃軒下土臺に

二本の菊苗を發見、其を鉢に植ゑて、手入したもの。昨今百幾つかの小花をつけ居ることに於て、多年積み重ねて來た罪障の、幾分までも消滅したかの感にうたれて、一切の鬱を、盆裁とそれ等一切の鬱を、盆裁とこれに埋まつて撮影したのである。朝、佛前に供へて、此等夕皇軍の武運長久を祈願し、陣没したる將兵各位の英靈を、追悼供養して居る。

(十一月二日夜稿)

本報發行部  
 大内郷内村報社  
 電話五五五  
 印刷所  
 平活版所

# 厄年を危く経過して

濱崎善三郎

七、鑛夫の親方  
 記録係庶務係を経て、大正十五年十月には、當時新に設けられた、勞務課に轉勤を命ぜられました。其頃は日本の勞働運動の勃興時代で、同年八月、既にわが會社の従業員中にも、日本坑夫組合の支部が出来て危機を孕んでおりました。こへ俄かに勞務課が新設されて、鑛夫の顔一人知らず此方面には全然無經驗な私が、思ひがけもなく、その責任者を仰せつかつたのであるから、全く鳩が豆鐵砲を喰つたやうでしたらう。



長社大野淺故

昭和元年の一月二十六日から、いよいよ、爭議罷業状態に入り、そして二月十八日解決に至る迄二十四日間無我夢中で闘ひました。社内には爭議の經驗者などは、只の一人も居なかつたのに善戦だか悪闘だか分らんがよくなま切りのぬけたもんだと、今でも感慨無量なるものがあります。

外來の勞働ブローカーに煽動され、爭議に参加して喰物にされた、鑛夫達の始めな有様を、現實に見せつけられた私は、自分こそ勞働者の眞の味方にならなければならぬと、堅く決心した次第でした。

此爭議に際し、當時古河に居られた氏員一郎さん  
 は、私のよろしく歩きをいたく心配されて、あんなよは上手！屹度こんな温い心持で？心からなる聲援をしてくださつたものであります。先輩は有難いもんです。

石炭は幾ら掘出して足らず、勞働者も亦幾らあつても不足で、其募集に苦心慘澹してゐる今日から見れば、眞に隔世の感がありまが、昭和五年頃は、炭況頗る不振で、大の虫を生かすためには、萬已むを得ず千代田炭礦の休山に次いで重内小野田兩礦共に鑛夫を整理した上で、斤先に移すことになり、何れも相當の波瀾がありました。其後昭和七年には、此内郷でも濟し崩しではあつたが、随分鑛山の鑛夫達を整理せざるを得なくなりまして、可憐な鑛夫達を斤先の里子にやつたり、解雇したりした数は、幾千あつたであらうか兎に角一萬を超えてゐたものが、昭和八年には三千人になつたんですからね。それにしても殆んど何等の支障もなく、五年十一月間勞務課時代を、大過なく無事に勤めさせていたといふことは、これ偏に上司は勿論、同僚諸君の御庇護と部下の人達が、至誠

と親切、先づ己を磨く！此私のモットーに、共鳴賛同して、眞に献身的に働いてくれた御蔭であること、感謝して居る次第です。

故淺野大社長には、とてもとても鑛夫達を可愛がつていたさきました。あの白髪重顔、御自慢の漆黒な長い眉、ニコニコしながら、鑛夫達の肩をたたくいて「勉強して呉れよ」と激勵されたものであるが、其大社長の鑛夫達に對する愛撫心の餘蘞は、この私にまでも及び、大社長から見れば孫のやうな私を、鑛夫の親方々々慈しんでいたさういふことは、終生忘れ得ぬ感激であります。

勞務課時代を振り返つて見て、たつた一つ、今でも心の傷みを覚ゆることがあります。それは整理の過程に於て、どうしても鮮人鑛夫を解雇せなければならぬ破目になつたのであるが、内地は何處も不況で、之を容れてくれる處はなく、ほとんどの困つた擧句、フト氣が附いたのは、時しも滿洲國は基礎が固まつて、これからといふ時であつたので、鮮人の組長に、ごうだ一つ滿洲の新天地に奮發して見ると、一同相談の上、行くといふ申出があつたので、早速私はその組長を連れて上京、關係官廳に依頼に及んだ處、首尾よく其意願が達せられたのであります。

陸軍大臣の副官、拓務省の小河課長、朝鮮總督府の池田警務局長などの、親切な御取計ひは、今も肝に銘じてゐます。只滿鐵東京支社に行つた時に、案内係長の一老人が、折角内地に來てゐるものを、今頃滿洲にやるなんて、そりや亂暴だや酷だど叱られました。が、さして氣にも止めないで、いよいよ昭和七年五月九日鮮人鑛夫五十三人、家族を加へて一行百五十七人を、綴驛頭に見送る事になつたのであります。

長い間會社で奮闘してくれた鑛夫達、杖にすがる老人、母に抱かれた乳存子、内地婦人の妻の姿など、いざ別れるとなると、もう胸がばいになつて、萬歳の音頭も、遂に取り兼ねた次第でした。滿鐵支社の老人の一喝も、今になつて胸にこたへると共に、時々思ひ出しては此等の人々の幸福を、祈つて居る次第であります。

東北鑛山 常警部會  
 勞務協議會

壹等一席 小松利保  
 同二席 尾形八百次  
 同三席 樋川盛光  
 同四席 齋藤保

發行所 日本評論社  
 東京橋本三丁目  
 取次所 内郷村報社

應召軍人家庭に、稻刈奉仕をなし、其家庭は勿論、道行く人をして感嘆の聲を放たしめた。團員中には、農

大内民憲著  
 教育制度改革概論  
 (四六版二一頁定價五十錢 郵税六錢)

行き詰る現代の教育制度を解説して、學理と實際と、歴史と實況とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同攻撃に違あらず。味ど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威  
 前京大總長小西重直博士  
 寄せて曰く、多年ノ御體験下實地ノ御試練ニ基キ眞實國ノ大精神ヲ釋味仕テ不憚ニ行々云々。



### 教育制度改革概論

矢野 恒太郎 大内民憲著  
（四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢）

行き詰る現代の教育制度を整理して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同攻撃に遠あらず。さし未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威  
前京大總長小西重直博士  
書を寄せて曰く、多年の御體験下實地ノ御試練ニ基ク眞實英國ノ大精神ヲ拜味仕テ不感敬慕ニ行ハレ云々。

發行所 日本評論社  
東京橋本三丁目  
取次所 内郷村報社

家族までも、面倒を見なければならぬのであるから、なまなかのことでない。「今迄悪運強、生きなが

此争議に際し、當時古河に居られた氏員一郎さん

無事に勤めさせていたといふことは、これ偏に上司は勿論、同僚諸君の御庇護と部下の人達が、至誠

鮮人の組長に、さうだ一つ満洲の新天地に奮發して見

こたへると共に、時々思ひ出しては此等の人々の幸福を、祈つて居る次第であります。

### 東北鑛山常警部會

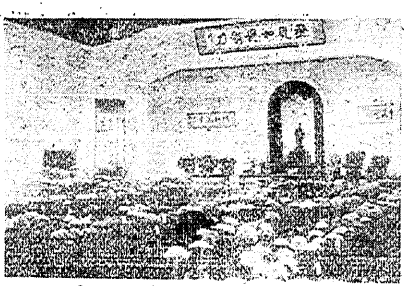
十一月五日午前九時より、入山自治會館に於て開會。仙台鑛山監督局管下二十二炭礦及鑛山の勞務主管者三十四名、警炭よりは濱崎副所長以下四名出席。理事長齋藤大助氏（鑛政課長）の挨拶、濱崎幹事の歓迎の挨拶及常警炭礦の概要説明後、勞働力不足緩和對策、時局

内郷青年會の美舉  
女子青年會の美舉  
警炭町田坑勞務擔任武藤義造氏の宰する同會では、有志會員三十四名を兩班に分け、十月三十一日と十一月七日の兩日に涉り、玉川村住吉神社に、皇軍の武運長久を祈願し、其往復蠶をとり、賣上金四圓拾錢を得、全部之を恤兵部へ献金した

（一般競技）  
優等天 國光の輝  
同地 菊理姫  
同人 窓の櫻  
一等一 席 櫻  
二等二 席 櫻  
三等三 席 櫻  
四等四 席 櫻  
五等五 席 櫻  
六等六 席 櫻  
七等七 席 櫻  
八等八 席 櫻  
九等九 席 櫻  
十等十 席 櫻

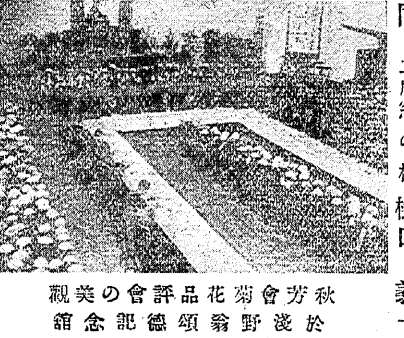
女子青年團  
内町支部の活動  
同支部では深く時局に鑑みる處あつて、内町校を中心

應召軍人家庭に、稻刈奉仕をなし、其家庭は勿論、道行く人をして感嘆の聲を放たしめた。團員中には、農家の子女は極めて少く、生來鎌を手にした事などは、銃全くないにも拘はらず、銃後の赤誠に燃え、モンペ姿も勇ましく、雨後の泥田に立ち働いたのであつた。國家總動員の高唱さるゝ今日かうした運動は、一般に深き印象を興へると同時に、子女教育上、農家の辛勞を體驗せしむる上に於て、甚大なる効果あるものとして指導部では大い満足して居る。



常警部會 會務部 休德 憩念 光景

内郷青年會の美舉  
女子青年會の美舉  
警炭町田坑勞務擔任武藤義造氏の宰する同會では、有志會員三十四名を兩班に分け、十月三十一日と十一月七日の兩日に涉り、玉川村住吉神社に、皇軍の武運長久を祈願し、其往復蠶をとり、賣上金四圓拾錢を得、全部之を恤兵部へ献金した



秋芳會 花品評會

秋芳會 花品評會  
十一月一日より一週間、淺野翁頌徳記念館に開催、五日に會田政治郎渡邊喜重小松米作三審査員の審査を行ひ、七日に授賞式を舉行した。其受賞者は左の通りであつて、連日多數の來觀者があつた。

縣下方面委員大會の記  
赤土興榮  
員「植松少將の「今次事變と國民の覺悟」の有益なる講演あつて、午後五時閉會した。かくて一行は汽車の連絡なく歸れないので、王寺立花園に連日の勞を癒やして歸村した。大會の宣言は左の通りである。

下に於ける勞務管理の諸問題等に就きて熟議し、産業報國のローガンを決議した。かくて一行は、入山、長倉、警城、淺野翁頌徳記念館に於て休憩、好問の順路に、坑内外の諸施設を視察、午後五時さしも大量の日程を、行き届いた計畫と準備とによつて無事終了、住吉屋に於て、晚餐を共にし、遠來の客を痛つて解散した。

秋芳會 花品評會  
十一月一日より一週間、淺野翁頌徳記念館に開催、五日に會田政治郎渡邊喜重小松米作三審査員の審査を行ひ、七日に授賞式を舉行した。其受賞者は左の通りであつて、連日多數の來觀者があつた。

秋芳會 花品評會  
十一月一日より一週間、淺野翁頌徳記念館に開催、五日に會田政治郎渡邊喜重小松米作三審査員の審査を行ひ、七日に授賞式を舉行した。其受賞者は左の通りであつて、連日多數の來觀者があつた。

秋芳會 花品評會  
十一月一日より一週間、淺野翁頌徳記念館に開催、五日に會田政治郎渡邊喜重小松米作三審査員の審査を行ひ、七日に授賞式を舉行した。其受賞者は左の通りであつて、連日多數の來觀者があつた。

秋芳會 花品評會  
十一月一日より一週間、淺野翁頌徳記念館に開催、五日に會田政治郎渡邊喜重小松米作三審査員の審査を行ひ、七日に授賞式を舉行した。其受賞者は左の通りであつて、連日多數の來觀者があつた。

本紙贊助金寄贈芳名  
金壹圓 金坂 平 興作  
金貳圓 北海 道 小野 昇  
金壹圓 平 松崎 徳茂  
金壹圓 坂 大竹菓子店

開拓記録 (三)

北海道十勝國上川郡 清水町 清水山莊

大内 一 郎

(前略) 山莊も收穫非常時ですが天候が思はしくないので、仕事がおくれ勝ちで聊か困つて居ります。...

ない御無沙汰をいたしました。お父さんは益々御元氣に、今頃は新湯御滞在の御事と存じます。...

詰めて下さい。之は労働足袋の底にするのです。何れも冬籠りの仕事材料です。...

九月十日附御手紙先達いたゞきました。須藤さんの奥様が亡くなられた由、ほんたうにお氣の毒で御座いました。...

會員二百名募集 (昭和二十一年十一月より)

一家を更生せんとする 戸主 長男は 來れ 一身を立てんとする 二男 三男は 來れ

詳細は申込み次第 『七年會案内』を送る

磐城炭礦従業員寄宿舎

大正十二年創立 七年會

福島縣石城郡内郷村宇宮澤 (常磐線)

大俵七郎さん三斗二升ありました。次に婦友之社から、別紙前金切れの振替用紙が参りましたから、引きつゞき牛ヶ年分御送金を願ひます。...

居ります。農會からセメントの十一俵の補助は別送し、七俵のセメント代、肥料、鐵線代、人夫料等山莊の支出は、參拾圓内外でせう。...

部を御寄贈いただきました。新湯宛 九月十一日 一郎 五日附御手紙昨日いただきました。...

力瘡が出て参りました。稲黍は今の處九俵丈儀につめました。尙三四俵はあらうと存じます。...

九月九日 御安心下さい。皆にもよろしく。九月二十日

内郷村報の

六大使命

- 一、政界を遠ざけて、村々を主として振務す。
二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協同を計り、模範和進努力の實現を期す。
三、本村社會事業の徹底を期す。

- 四、村内の善事興行を奨励し、且之を獎勵す。
五、本村と本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其協同向上を期す。
六、費餘力を以て國民服務に當る。

本報發行は大内一家の事業にして、其の社務は子孫に對する遺言を發するものなり。

發行所 大内 民 事 所 電話 五五五 電話 五五五

内郷村報

天法人則 順ナ則

今更ながら、感慨之を久うしたのであつた。これは手が過去幾春秋の間に、多くの知友から寄贈

爾來半ヶ年、予は毎朝未だに起きて、神佛の禮拜を、鉢、ビン、セツト、殺虫器等を手にして、庭内を駆けめ